



介護体験を

聞く会



平成26年6月28日発行
発行所…(有)明寿会
住所…川崎区中島1-13-3
電話044-233-0061
*定例会は最終土曜日です。

在宅の介護困難に鳩首協議で解決

議題は大病後に通所利用し、本人家族の努力で笑顔がでてきた方です。このほかに在宅困難な方の相談、奇数月でのグループホーム運営推進会議がありました。

第149回 介護体験を

聞く会

平成26年5月31(土)に開催



(小学校の運動会にグループホームの高齢者を招待)

議題

- ①Mさんの事例検討
 - ②デイケア・デイサービスの家族相談
 - ③グループホーム旭町運営推進会議
- *参加者
職員…院長 ケアマネ
金子 高橋 古谷 太田
飯田 山崎 柏倉 梅本
家族…石田さん 野々目さん 藤田さん 斎藤さん(福祉用具業者)
①Mさんの事例検討
氏名Mさん女性(80歳)
生年月日 昭和9年3月4日生まれ
利用状況 週3回(月・水・金)
利用開始日 平成21年

8月4日から柳田デイサービス利用

*出身地 静岡県沼津市

趣味 カラオケ・書道・詩吟

性格 穏やかで優しい

主介護者 長女

*既往歴 骨粗鬆症 腰部圧迫骨折 糖尿病 平成14年・15年頃 鬱病の薬を服用 平成19年 パーキンソン病と診断 平成21年 意識がなくなり入院(脳波異常との事で、抗てんかん薬処方)

同年12月 胃癌の為、胃全摘出手術 平成22年3月 食事摂れず、腸ろうのまま退院 平成25年3月 急性腎盂腎炎の為、入院 同年11月 腸閉塞の為、入院

*内服薬 タリオン錠5mg アレルギを抑える薬 ギザル錠5mg 痒

み・アレルギー症状を抑える薬 プロトピック軟膏0.1% アレルギー反応を抑える薬 リドメックスコーワロション

湿疹・かぶれの薬 ツムラ大建中湯エキス顆粒

足腰の冷え・腹痛や腹部膨満に効果あり マグラックス錠330mg 腸を刺激し運動を活発化・胃酸の中和効果もあり

*生い立ち 昭和9年3月4日静岡県沼津市に7人兄妹の6番目として生まれる。実家は漁業。商業高校を卒業後、農協に勤務。昭和34年(25歳)お見合い結婚、横浜市に転居、長女・長男・次男を出産。ヤクルト配達、新聞の集金、保険の仕事をしてきたが、昭和61年(52歳)バイクの免許を取り、クリーニングの取次店を始める。平成14年(68歳)夫が病気になる。平成18年(72歳)夫が他界、パーキンソン病と診断され、歩行も少し困難となり身の回りの事が出来なくなる。平成21年(75歳)2月自宅で転倒、腰部圧迫骨折し長女と同居。同年8月柳田デイサービス利用開始。同年12月胃癌の為、胃全摘出手術。平成25年(79歳)癒着の為、腸閉塞が続き3回入院。平成26年ミキサー食を食べ始める。入れ歯の修理もして、今のところ段々と元気になってきている。

*自宅での様子 リハビリもせず、ほとんどベットの所でテレビを見て過ごす。最近、薬や歯磨きを忘れてしまう事があり、トイレの回数やお通じを聞いても分からない事が増えた。又、頭や顔に湿疹や痒みがある為、「痒くて寝れなかった」と言う事もある。

*デイサービスでの様子 利用当初は、下を向いたまま1人でポツンとしていたが、2便の待ち時間の際のタオルたたみがきっかけで輪に加わる。今では、馴染みの利用者さんとの挨拶で肩を叩き合ったり、冗談を言い合ったり、

平成26年6月28日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-233-0061

*定例会は最終土曜日です。

8月4日から柳田デイサービス利用

*出身地 静岡県沼津市

趣味 カラオケ・書道・詩吟

性格 穏やかで優しい

主介護者 長女

*既往歴 骨粗鬆症 腰部圧迫骨折 糖尿病 平成14年・15年頃 鬱病の薬を服用 平成19年 パーキンソン病と診断 平成21年 意識がなくなり入院(脳波異常との事で、抗てんかん薬処方)

同年12月 胃癌の為、胃全摘出手術 平成22年3月 食事摂れず、腸ろうのまま退院 平成25年3月 急性腎盂腎炎の為、入院 同年11月 腸閉塞の為、入院

*内服薬 タリオン錠5mg アレルギを抑える薬 ギザル錠5mg 痒

りする。新規の利用者さんにも、自ら笑顔で挨拶を交わします。200回体操では、無理せず休みながらではあるが、意欲的に参加される。入浴では、衣服の着脱は見守り・介助で対応している。頭や顔の湿疹対策として、低刺激の固形石鹸を持参され洗髪・洗身している。入浴後は、湿疹や掻き傷に軟膏を塗布する。昼食は、本人の希望もあり主食・副食共にペースト食になり、食べる量はご自身で調整されている。食後は、暫くしてからベッ トにて30分程横になら



(運動会の様子)

栄養補助摂取のドリンクは、午前と午後の2回に分けて飲んでいきます。入退院を繰り返して体力の低下が見られたが、個別リハでは意欲も向上し前向きに取り組まれ、腹筋・背筋・バランス能力も向上している。歌声も大きくなり、優しくていつも笑顔でいます。

*今後の対応

胃の全摘出手術をしており、食事形態や量を特に注意しています。少しずつ体力も回復していき再び入退院を繰り返さない様、注意深く見守っていきながら無理なく他の利用者さんと交流出来る様、支援していきたいと思

います。

②デイケア・デイサービスの家族相談

Nさん(野々目さん)・・・全く落ち着かない(介護している姉が)。朝から10回位買物に行く。いなり寿司が好きで、いなり寿司ばかり買ってくる。自分が飼っている猫の世話をしないし、ゴミの分別が出来ない。最近はやイゼリア通いが再開して、ナプキンばかり大量に持っ

て帰る。店に行くのだったがお金が掛かるのに、朝から晩までお金の事ばかり言っている。

院長・1人では限界もあるし無理な為、もう1人か2人で介護出来ないか？例えばショートを利用するとか。

Nさん・ショートは絶対に行かないと本人が頑なに拒否する。娘(Nさんの)が時々、食事を運んでくれる。

院長・誰の言う事なら聞くのか？かかりつけの医者か、平塚にいるもう1人の姉か。

Nさん・誰の言う事も聞かない。平塚の姉に愚痴を言っても、子供の頃はあんたが面倒見てもらったんだから、我慢しなさいと言われるだけだから。

院長・第3者から、姉に声を掛けて貰うしかないと思います。

Iさん(石田さん)・・・認知症の場合、コミュニケーションが取れない為に本当に難しいと思います。入れ歯の調整一つ取っても、大変だと思う。

Fさん(藤田さん)・・・(叔母から)時々電話が



あり、元気にしているとの事で今は一安心している。

ケアマネ・制度がいろいろと変わって、業界はどうですか？

Sさん(福祉用具業者)・・・制度改革で、ガイドラインが厳しくなって大変です。しかし、どうやったら利用者に更により良い物を提供出来るか、日々頑張ります。

③グループホーム運営推進会議

ホームからの報告

(1) 地域交流について
5月17日 富士見中学校の体育祭見学に入居者8名参加 5月24日 旭町小学校の運動会見学に入居者5名参加。5月28日 藤崎小学校の田植え見学に入居者4名参加
(2) 入居者について

5月17日 Tさんが、ご病気にて他界される。6月中旬Hさんが、幸区にある特養「クロスハート」に入居の為グループホーム旭町から退出予定です。

(3) 行政関係について

5月14日 実施指導の方が2名ホームに来られ、利用者への対応や外部との対応などの記録を必ず残す様、再度確認しました。市から詳しい指摘やアドバイスはまだ送られてきていませんが、届き次第、改善出来る様に取り組みたいと思います。

(4) 外部の方の研修について

5月20日 実施者研修で男性2名が、ホームの現場研修に来られました。おひとりは、小規模多機能ホームの管理者兼ケアマネジャーの方、もうおひとりとは、認知症対応型デイサービスの主任の方でした。教わる事も多く、職員一同にたい今後は実践していきたいと思っています。

(5) 人事異動について

前主任の退職に伴い、高橋が主任を務める事となりました。

認知症者の最大の関心事は何か？

それは「不安」と「心の安寧」

A) 最大の関心事、それは不安。認知症者の中心となる関心事は不安。

B) もう一つの最大の関心事、認知症者の中心となる関心事は安心感。心の安寧。

本来はB/Aとなる社会環境が望ましい。すべての人にも望ましいはず。

それでは、認知症者のいかなる事？

入浴、トイレ、食事、自分の行き先、物事の



(稲をもらって植える)



やり方、未来など。わからない事の不安が、行動の拒否につながる。

他人に押し付けられること、抵抗できないイカリと不安

圧迫感、視線や態度に示される暗黙の威圧

夕方や夜の孤独感、一人ぼっちになること

認知症者が安心できること、気持ちの落ち着きは何か？

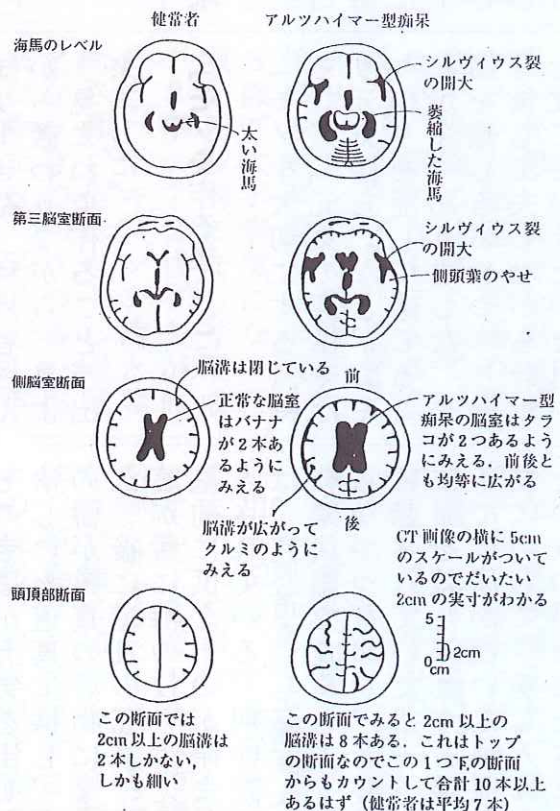
擬似家族、擬似兄弟、擬似親子、擬似親族、数ヶ月かけてつくられた人間関係、信頼できる人間関

係のあること。言葉ではなくても体感される安心、それがなじみ関係。その中にあり守られていると感じること。もちろん本物の家族から守られることが一番だが。

★不安の医学的背景

認知症者はすぐ前の記憶が残らない病気。新しい記憶中枢を構成する脳細胞が破壊されている。しかし過去の記憶や感情中枢はしっかりとある。短期記憶障害は、現実判断ができないとか、未来が見えてこない。目の前の現実と判断する記憶中枢の後退というギャップが不安を呼ぶ。そこでなじみ関係づくりが必要であり、認知症者のケアでこれが必要な理由がここにある。

認知症者のケアには目先の言葉や記憶知識が優先のつきあいでは通じない。豊かな人間関係や信頼される感情を所有し、安心されるオーラ、体感表現、感情表現を持たなければなら



ない。感情でもって信頼関係ができなければならぬ。★介護の方法と姿勢

認知症者相手に不安な感情をみせないのがプロヘルパーだと思う。病気ゆえに発生する未来の不安はわたしが守りますという気持ちでいること。

認知症者の目の前でドタバタしない。一喜一憂しない態度。いつも落ち着いた態度が必要。たとえ日本が沈没しようにともあなたを守りますよという態度が示されること。セオールの船長

のような、危機をまえにした時、機敏な判断力もなく、他人救済より自分の命を優先するのは判断能力を奪われた人人を放置するに等しい。現代流行の自己保身と拝金病の感染者ではためである。認知症者の鋭い感情中枢に見破られる。ケアに対して抵抗をうける。ケアの拒否をうけるのです。

認知症の世界的専門家である長谷川和夫氏の主張されるパーソンセンタード・ケアをまず隗から始めようで行きたいと思いま

先月5月245日、旭町小学校にお招きいただき、柳田デイケア、柳田デイサービス、グループホーム旭町合同で、体育祭を見学させていただきました。

案内していただいた席につくと、ちょうど短距離走のゴール地点の目の前という特等席。校庭の反対側から自分たちの目の前に向かって一生懸命に走ってくる子供たちを見ながら、皆さん「がんばれがんばれ！」と声援を送り、拍手をしていました。

男女混合での徒競走の様子に、ある女性の利用者さんは「私たちのころは男女別々だったし、私はとても男の子に勝てる気がしなかった。今の女の子は、男の子にも勝とうと一生懸命走っていて偉いね。」と感心されていました。

孫やひ孫にあたる世代の子供たちの頑張りを見ながら、利用者さんそれぞれが自分の子供のころを懐かしんだり、子供にお弁当を作って応援に行っ



たことを思い出したり、別々に暮らしている孫の事を思い出したりされながら、目を潤ませている方もいらつしやいました。見学を終え施設に戻ってから「子供たち凄かったね」と何度も話されている方もおり、見学の思い出は強く心に残ったように、職員としても嬉しくおもいました。

今回先生方のご厚意で、学校内での誘導や席のご用意など、ご協力いただいたことにお礼申し上げますと共に、またぜひご招待いただけることを利用者様と共に願っております。

グループホーム旭町

古谷

「梅ヶ枝餅」

3月のおやつ作りは今までにない物を探し求め、「梅ヶ枝餅」を作りました。

2グループに分かれ、白玉粉をこねて下さったMさん・Eさん、薄くのぼした生地で餡を包んで下さったYさん、利用者さんと一緒にスタッフも参加し、形を整えるのに苦労しました。

：梅ヶ枝餅は本来、梅の焼印を付けているのですが、そのような道具はないので、食紅でほんのり色づけして梅の色を再現しました。

この色づけはとっても好評でした。「うすいピンク色が可愛い。おいしそう♪」春を感じるおやつが出来上がり、利用者さんは顔を綻ばせ、和気藹々とした時間が流れました。

また、残ってしまった餡がもったいないと「きんつばを作ろう！」と声が上がリ・・・とは言っても

のスタッフは作り方を知りません。利用者さんから教わりながら、見よう見まねで作ることが出来ました。

「モノを作る楽しさ」

「モノを大切に作る気持ち」、「元気の源はやはり元気から」など、おやつ作りを通して感じることが多くありました。季節を感じるおやつ作りを今後も工夫しながら計画を立てていきたいと思えます。

梅ヶ枝餅由来

・・・とは：福岡県太宰府天満宮の名産物。菅原道真公が太宰府へ権帥として左遷され悄然としていた時に、安楽寺の門前

で老婆が餅を売っていた。その老婆が元氣を出して欲しいと道真に供し、その餅が道真の好物になった。後に道真の死後、老婆が餅に梅の枝を添えて墓前に供えたのが始まりとされている。別の説では、菅原道真が左遷直後、軟禁状態で食事のままならなかったおり、老婆が軟禁されていた格子越しに餅を差し入れた際、手では届かないため梅の枝に刺して、差し入れたというのが由来とされている。《ウィキペディアより》

（これは先月掲載予定だったもので、今月に掲載した）

